

安 全 情 報

～2012 年中におけるカンボジア国内犯罪発生状況～

「自分の身は自分で守る。」をモットーにカンボジアライフを楽しく、良い思い出をつくるため、安全情報を提供させていただきます。

1 2012 年中における犯罪発生総件数は、下記表のとおり 2,689 件で、強盗・殺人等の「重要犯罪」が 838 件、窃盗等の「その他の犯罪」が 1,851 件と前年同期と比べマイナス 166 件と全体的には減少していますが、強盗事件及び殺人事件はそれぞれ 22 件も増加しています。

2 特に、殺人事件については年間 290 件も発生しており、カンボジアの人口(1,340 万人：2008 年政府統計)から考えると、殺人事件 1 件当たりの国民の数は 4 万 6,206 人になり、殺人事件の発生率は日本の **2.67 倍**になります。

(参考) 2012 年中に日本国内で発生した殺人事件は 1,030 件、日本の人口は 1 億 2,730 万人（2013 年 5 月総務省統計局発表）、殺人事件 1 件当たりの国民の数は 12 万 3,592 人

3 硫酸による傷害事件が 2012 年に 2 件発生していますが、この犯罪は警察に届けられないケースが多く、実際は何十件も発生していると言われています。

又、被害者の多くは女性で、男性が女性に振られた腹いせで硫酸を女性の顔に掛けるケース、夫や恋人を奪われた女性が相手女性の顔に硫酸を掛けるケース、通り魔的に男性が見ず知らずの女性に対して硫酸を掛けるケースが多いとのこと。

硫酸攻撃は命を脅かすだけでなく、助かっても、その後の被害者の人生を蹂躪する卑劣な犯罪といえます。

No.	犯罪種別	2012年	2011年	増減
I	重要犯罪	838	860	-22 件 (-3%)
1	強盗	240	218	+22 件 (+10%)
2	殺人	290	268	+22 件 (+8%)
3	強姦のみ	279	340	-61 件 (-18%)
4	強姦殺人	8	16	-8 件 (-50%)
5	監禁（身代金目的）	2	5	-3 件 (-60%)
6	監禁（その他）	9	9	±0 件 (0%)
7	手榴弾攻撃	8	4	+4 件 (100%)
8	硫酸攻撃	2	0	※2011 年は無
II	その他の犯罪	1,851	1,995	-144 件 (-7%)
1	過失（傷害）致死	24	13	+11 件 (+85%)
2	窃盗	810	902	-92 件 (+10%)
3	詐欺・背任	65	99	-34 件 (-34%)
4	傷害	825	865	-40 件 (-5%)
5	わいせつ	85	74	+11 件 (15%)
6	違法武器使用	26	26	±0 件 (0%)
7	賭博	16	16	±0 件 (0%)
犯罪発生総件数		2,689	2,855	-166 件 (-6%)

3 地域別、凶悪犯罪発生件数ワースト5及びベスト1

- (1) **強盗事件**に関しては、①プノンペン特別市 81 件、②カンダール州とコンポンチャム州 18 件、④タケオ州 12 件、⑤プレイベン州 11 件がそれぞれ発生し、ケップ州及びウッドーミエンチャイ州は 1 件でした。
- (2) **殺人事件**に関しては、①プノンペン特別市 46 件、②コンポンチャム州 33 件、③ポーサット州 21 件、④バッターバン州 19 件、⑤コンポンスプー州 17 件がそれぞれ発生し、ケップ州及びウッドーミエンチャイ州は 1 件でした。
- (3) **強姦事件**に関しては、①コンポンチャム州 34 件（内 2 件は強姦殺人）、バッターバン州 34 件（内 1 件は強姦殺人）、③ポーサット州 26 件（内 1 件は強姦殺人）、④プノンペン特別市 20 件、④カンダール州 18 件がそれぞれ発生し、ケップ市は 1 件でした。

カンボジアは安全になったイメージがありますが、犯罪は頻繁に発生しています。日本と比べて当地での生活には特に注意し、○危険な場所には近づかない。○夜間に人通りが少ない道の 1 人歩きはしない○深夜の不要の外出は控える○多額の現金や貴重品は持ち歩かない。○見知らぬ人を安易に信用しない。○買い物は信用のおける店を選ぶ。○ホテルの中でも安心しない。○犯罪にあっても抵抗しない。など「自分の身は自分で守る。」をモットーに防犯に心掛けて下さい。